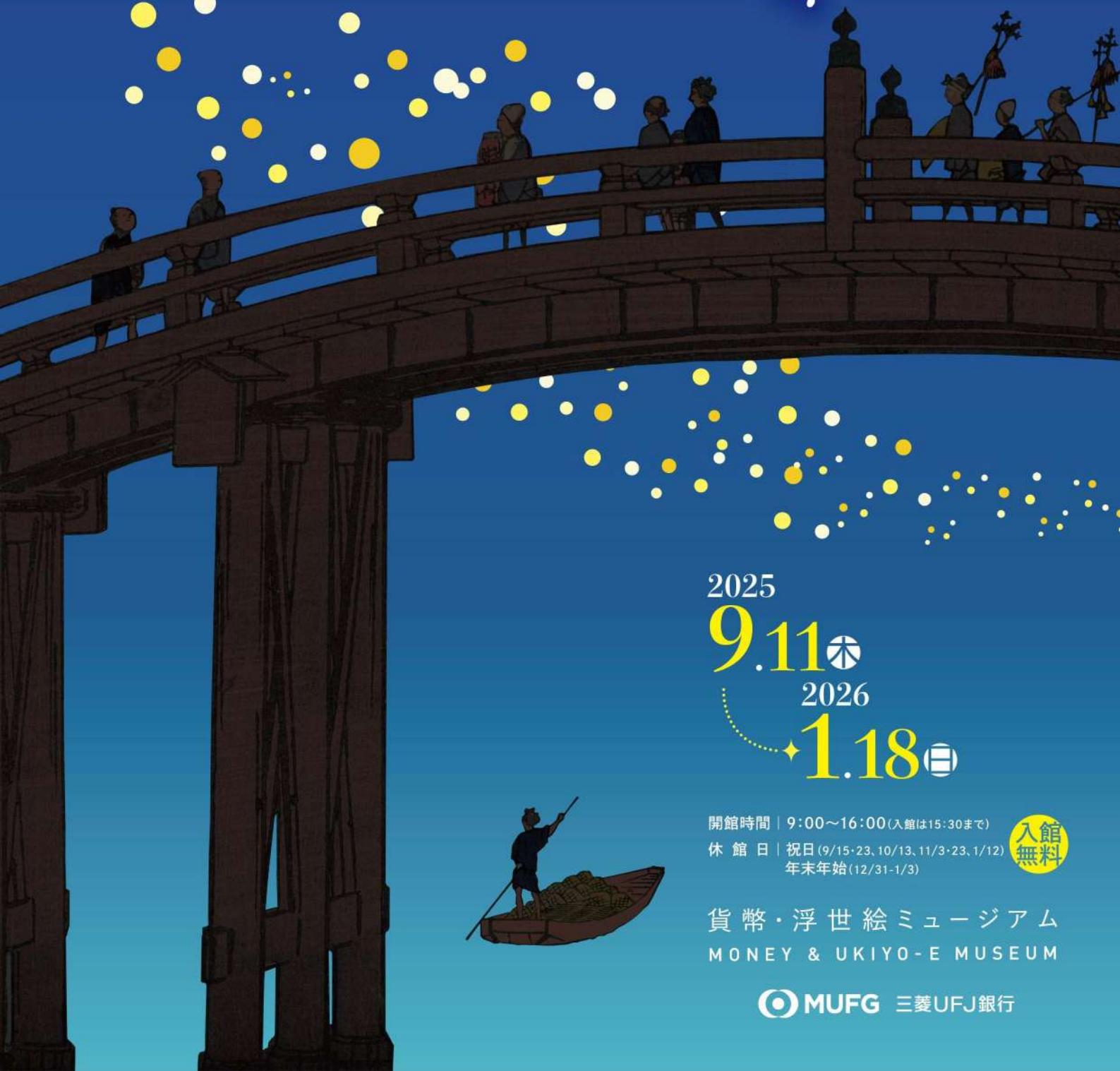


# 闇に光る 魅惑のビーム



2025

9.11 木

2026

1.18 木

開館時間 | 9:00~16:00(入館は15:30まで)

休館日 | 祝日(9/15・23, 10/13, 11/3・23, 1/12)  
年末年始(12/31-1/3)

入館  
無料

貨幣・浮世絵ミュージアム  
MONEY & UKIYO-E MUSEUM

MUFG 三菱UFJ銀行

# 夜の帳が降りるころ、 踊り初むるは魅惑の光

江戸の宵闇に訪れるもの、それは魅惑的な光の舞台。

電気もガスもない江戸時代の闇は、まさに漆黒。

それゆえ「光」はひときわ美しく暮らしの刻を彩りました。

人々は幻想的な蠟燭や月の光のもとで互いの気配や香りをたよりに心を通わせ、

闇に広がる花火に熱狂し、赤々と揺らぐ炎に魔を払う力を信じて導きの道具としました。

静謐な空間は自己と向き合う時間を豊かにし、江戸文化の美的感性を育んだのです。

本展では夜に輝く月や星、松明や篝火、妖しく揺らぐ狐火に乱反射が美しい雲母摺の技など、

江戸時代の闇を美しく貫く光の正体を歌川広重の作品とともに探します。

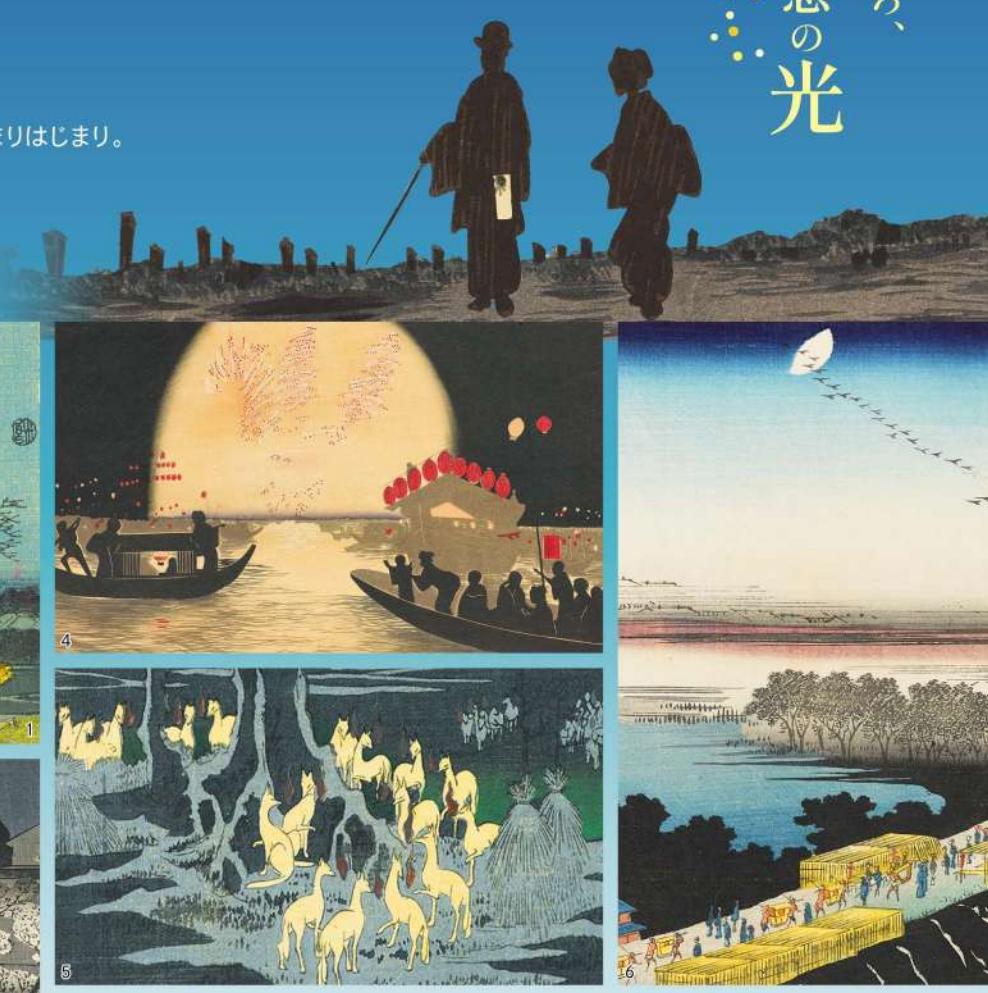
さらには、文明開化で暮らしが様変わりしてゆく明治の光を捉えた

小林清親の作品も紹介します。

闇は光を呼び、光は闇を美化する。

光に心を寄せて闇夜を楽しむ魅惑のひととき、はじまりはじまり。

今宵心を奪われた、あなたにとっての光とは?



1.《東海道 壬午 五十三次之内 赤坂》 2.《名所江戸百景 永代橋両国》

3.《名所江戸百景 廊中東雲》 4.《小林清親両国花火図》

5.《名所江戸百景 王子装束の木大晦日の狐火》 6.《名所江戸百景 よし原日本堤》

★4以外は歌川広重、すべて部分

## 貨幣・浮世絵ミュージアム MONEY & UKIYO-E MUSEUM

〒460-8660 名古屋市中区錦3-21-24 三菱UFJ銀行名古屋ビル1階

052-300-8686 <https://www.bk.mufg.jp>

次回予告

赤色MAGIC★ 一ミステリアス・カラー  
2026.1.22(木) ▶ 5.24(日)



●団体見学の方は事前にご連絡ください。

●駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

●催しの中止・延期・変更の可能性があります。

Instagram(インスタグラム)はMeta Platforms, Inc.の登録商標です。



Instagram